

□第2回学生および若手の技術者・研究者の論文コンペ
「新たな挑戦：建築へ提言」
—21世紀に解決しなければならない課題は何か？
その方策は？

戦後からの一貫した日本経済の発展は、建築文化を育てるとともに、建築に関わる材料・部材、構法、構造、建築環境、設備機器をめぐる各種技術の開発、さらには各種の工法の開発、工事管理の情報化などを、積極的に押し進めてきました。さらに、環境問題や近隣問題を重視した技術開発も盛んに進められています。21世紀を迎えた今日、我々は世界に誇れる建築技術を保有するまでになりました。

しかし、我々はこれら先人の功績を称えとともに、次の時代である22世紀を目指して、「新たな建築」とは何かを問い、従来の伝統、慣習、現在の技術、仕組みや体制を見直す新たな提言をしていかねばなりません。

以上のテーマについて、建築計画から構造、材料、施工、生産、設備、環境などの分野からそれぞれの内容に適した副題を付けた提言を求めます。

〈主催〉 関東支部

副題の事例（副題は、下記にこだわらず自由に定めてよい）

環境：建築と地球環境、循環型建築、建設廃棄物など

建築：超々高層建築、高齢化社会に向けた建築など

都市：都市再生と建築、都市の活性化と地域の振興、
既存不適格建物・都市防災など

新技術：建築の新材料、自動化施工、建築に必要な新技術、
新耐震技術など

産業：建築産業の再生、建築の規制緩和、
新しい発注方式・受注方式など

職能：建築職能、建築技能の再生など

次の時代を担う若い人々からの、既成概念にとらわれない自由闊達な意見を募集します。

応募資格 ①応募締切日において35歳を超えない建築学会関東支部所属の会員、②応募は個人単位とし組織やグループ単位での応募は認めない。

提出形式 ①A4判用紙、ワープロ仕上げとし文字は1ページ40文字×40行＝1,600文字。②図表など適宜含めて6～10枚、ただし図表は全体の1/3～1/4に納めること。③論文は5部提出。④提出は直接持参または郵送とする。

応募締切 2002年10月31日(木) *郵送の場合は当日消印可

審査委員会

委員長：小谷俊介（関東支部長・東京大学教授）

委員：田辺新一（早稲田大学教授）

谷口久美子（文化女子大学講師）

中西三和（日本大学教授）

松村秀一（東京大学助教授）

和田 章（東京工業大学教授）

関東支部役員

事業幹事：加藤泰夫、丸岡正夫、

学術幹事：川端一三、

総務幹事：石原和男、藤堂正喜

表彰 最優秀賞1点（賞状と副賞図書券5万円）

優秀賞2～3点（賞状と副賞図書券2万円）

奨励賞5点程度（賞状と副賞図書券1万円）

その他、内容が特に良い論文については特別賞を設定

（賞と副賞図書券1万円）

広報 賞の発表は『建築雑誌』2003年2月号および学会ホームページに掲載